

先進事例を見る

全国中央会では、中小企業や中小企業組合関係者が、新たな共同事業の実施や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、都道府県中央会と連携し、毎年テーマを決めて共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例を収集しています。昭和57年度より事業がスタートし、これまでに収録した組合事例は6,000組合を超えています。

毎年、詳細な調査・分析を行い、これをもとに組合事例のエッセンスを取りまとめ、報告書（先進組合事例抄録）及びホームページで公開しています。

神奈川県家具工業組合

— 「かなもく塾」による横濱発ブランド家具の製作と販売 —

住 所	(〒231-0045) 神奈川県横浜市中区伊勢佐木町7-155-7		
電 話 番 号	045-242-5981	U R L	http://www.kanagawa-kagu.com/
設 立	昭和45年5月	出 資 金	2,250千円
主 な 業 種	木製家具製造業	組 合 員	27人

■背景と目的

当組合では組合員の技術向上と若手経営者の育成に力を入れており、技能検定受託事業や技能五輪への参加、若手経営者の勉強会である「かなもく塾」の継続開催などを実施している。昨今、大手の家具販売店が大量生産・低価格の流通家具を販売するなか、中小の家具事業者が生き残るためには特色ある受注家具の開発が必要と考え、組合事業としてブランド家具の開発・販売に取り組んだ。

■事業・活動の内容と手法

これまで技能向上の取組みや「かなもく塾」による優良組合員の経営手法・人材育成の研鑽などを重ねてきたが、個々の組合員1社ができることには限界があり、課題である特色ある製品の開発・販路開拓に苦慮していた。「かなもく塾」の場にて「わが社が目指すこと」というテーマでアンケートを実施したところ、“組合員相互の協力により解決し、優れた製品の開発・販路開拓を行いたい”という若手組合員の意見が寄せられ、組合の共同事業としてブランド家具の開発・販路開拓に取り組むこととした。

特色ある家具開発のため、日本における洋家具発祥の地とされる地元横浜にちなみ「横濱空學堂」というブランドを立ち上げ、製作する家具も横浜のシンボルである横浜三塔のうち「キングの塔」「クイーンの塔」をイメージしたデスクとキュリオに決定した。また、製作にあたっては、曲面ガラスを取り入れて丸みを帯びたキュリオのデザインや、隅々まで光の行き渡るLED照明の配置の工夫、過去の横濱家具の資料からアイデアを得たロールトップデスク（巻き込み戸）の再現など、各組合員の持てる技術を結集して取り組んだ。

完成までには実に20回を超える検討会を重ね、試行錯誤を繰り返し、取組みの結果、クラシックの良さを残し、現代のニーズに応えるブランド家具が完成した。

■成 果

完成したデスクとキュリオは、地元横浜で平成27年2月に開催された展示会「テクニカルショウヨコハマ2015」で展示発表を実施した。業界紙などのマスメディアにも取り上げられ、同年8月までに販売実績も上がった。新たな販路を開拓するため、都内で行われる展示会等への出展や、民間や行政が行うブランド発掘事業への参加など、あらゆる可能性を検討しており、今後の更なる販路拡大とブランド向上に期待が持たれる。



ロールトップデスク



キュリオ



キュリオの組立ての様子



事業・活動実現のキーファクター

従来事業である技能向上・勉強会の取組みを下地として、業界の持つ課題と若手組合員の要望を受け入れ、組合をあげて製品開発・販路開拓という新たな共同事業に取り組むことができた。